

税理士試験の簿記論は、他の科目と異なり2時間の計算問題が出題されていることから、その出題範囲は広く、多種多様な処理を理解していなければ合格を勝ち取ることではできません。

近年の出題傾向を考えると、仕訳力だけでなく勘定記入や集計による試算表を作成する力が簿記論を合格するにあたって必要なのです。多くの簿記論の受験生はこの点に気付かないまま学習を進め、仕訳力を身に付けただけで安心してしまい、勘定記入や集計力を養う練習がおろそかになってしまう事実があります。

そこで仕訳力を養うということはもちろん、勘定記入や試算表作成による集計力を養うという目的により「個別計算問題集」を作成しました。完全に理解することができるようになるまで毎日解答して欲しいと思います。

簿記論の学習は、総合問題の演習が中心になりがちです。ここでもう一度個別問題を練習することにより総合問題の中での理解が深まり、それにより得点が高くなるのが「個別計算問題集」の本来の使命であると思います。学習を進めていく上で、この一冊により、少しでも受験生の方々が簿記論を好きになり、高得点を出せるようになって欲しいと我々講師一同切に願って止みません。

なお、本書は2026年5月1日現在の施行法令に基づいて作成しております。ただし、リースに関する会計処理については企業会計基準第13号「リース取引」に関する会計基準に基づいて作成しております。

資格の大原 税理士講座

## Subject.1

### 税理士試験の合格に必要な計算項目を網羅

この問題集には、過去の試験傾向及び出題実績を徹底分析することにより、税理士試験の合格に必要な出題頻度の高い基本項目及び出題頻度は低いが過去に出題実績のある応用項目等の問題を織り込んでいます。

この問題集の学習項目を習得することにより税理士試験を合格する上で必要な知識を身につけることができます。

#### 【簿記論 個別計算問題集の例】

単 元	子 エ ン ク	項 目	第66回 平成28年	第67回 平成29年	第68回 平成30年	第69回 令和元年	第70回 令和2年	第71回 令和3年	第72回 令和4年	第73回 令和5年	第74回 令和6年	第75回 令和7年
簿記の概要		損益の見越・繰延			●		●	●	●	●		●
		主要簿及び補助簿										●
現金預金		現金の範囲					●	●			●	
		現金の範囲					●	●	●	●	●	●

出題実績を徹底分析！

## Subject.2

### 過去の税理士試験の出題実績に基づいた効率的な学習が可能

過去試験問題を徹底分析することにより税理士試験での出題実績等を考慮し、A、B、Cのランクを付けてありますので、「A→B→C」の順で学習を進めることにより、合格を勝ち取るための効率的な学習をすることが可能です。

#### 【簿記論 個別計算問題集の例】

重要度が一目で分かるランク付き

### 1 簿記一巡

【1】

重要度B 標準時間7分

次に掲げる資料に基づき、①～⑨までの金額、勘定科目を答えなさい。(準大陸式)

決算整理前残高試算表 (単位：円)

現	金	187,810	買	掛	金	202,500
---	---	---------	---	---	---	---------

Aランク…基本項目であり合格に最低限必要な項目（出題実績が多い項目）

Bランク…応用項目のうち過去に出題実績のある項目

Cランク…応用項目のうち過去に出題実績が極端に少ない項目及び出題実績はないが出題が想定される項目

## Subject.3

---

### 個別問題集で段階的に能力アップ

本問題集をご活用いただくことにより仕訳する能力、集計する能力、読解する能力、処理スピード能力が身に付きます。

## Point.1

### 効果的な使用方法

#### STEP.1 Aランクからスタート

各問題には、A、B、Cランクが付けられています。まず初めにAランクの問題を解答し、Aランクの項目を習得した後にBランク、Cランクと順次解答するようにして下さい。

なお、Bランク及びCランクの項目については、数年に一度出題される可能性がある項目であり、税理士試験を確実に合格するために身に付けたい項目となります。

#### STEP.2 できるまで繰り返し

各問題には、解答時間の目安を記載していますので標準時間内に正答できるようになるまで反復して練習しましょう。

#### STEP.3 チェックリストで管理しよう

チェックリストのチェック欄には、日付、問題の出来・不出来等を記入することにより計画的な学習、弱点項目の把握ができます。

#### 【財務諸表論 個別計算問題集の例】

解答日や出来をメモしておこう

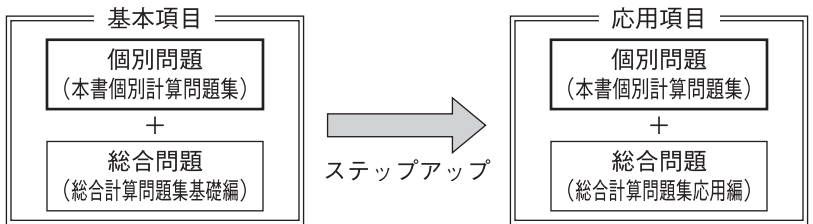
		問題番号	重要度	問題頁数	解答頁数	内 容	チェック
第1回	財務諸表等・ その他の基本項目	問題1	A	P. 2	P. 132	個別注記表の内容	<input type="checkbox"/>
		問題2	A	P. 4	P. 133	独立科目表示、注記(科目別、一括)	<input type="checkbox"/>

## Point.2

### 応用項目へのステップアップするための効率的な学習が可能

本書及び総合計算問題集（基礎編）を利用することにより、税理士試験の合格に必要な基本項目を効率的に身に付けることができます。

基本項目を身に付けた後は、近年の税理士試験の出題実績を踏まえた難易度の高い応用項目を収容した総合計算問題集（応用編）を解答することにより税理士試験の合格に必要な解答方法を身に付けることができます。



### Point.3

## 資格の大原書籍販売サイト 大原ブックストアをチェック！

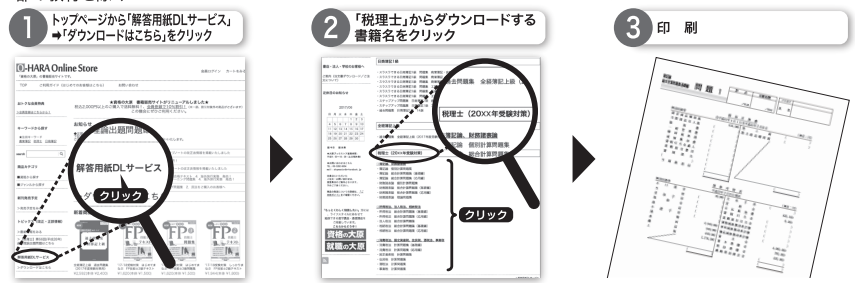
法改正や書籍の新刊発売予定など、学習に欠かせない情報をWebで確認できます。ぜひ一度アクセスしてみてください。

<https://www.o-harabook.jp/>

資格の大原書籍販売サイト 大原ブックストア

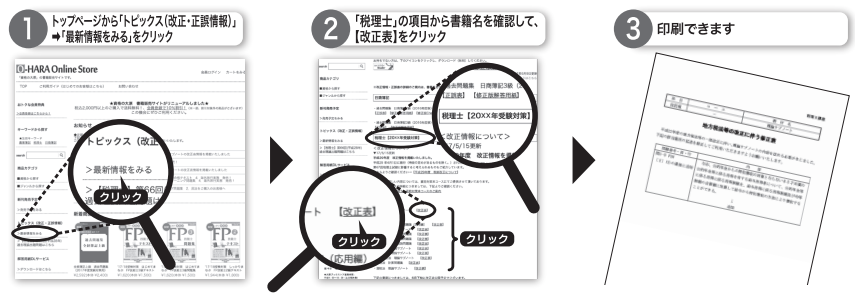
### 解答用紙・チェックリストがダウンロードできる！

印刷して、解き直しやチェックリストにご利用いただけます。  
※一部の教材を除く



### 法令等の改正に対応！

改正時には、大原ブックストアで本書掲載内容に関する法改正に伴う修正を公開します。改正後の問題や解答をいち早くキャッチできます！！  
また、細心の注意を払って作成しておりますが、万が一、訂正が生じた場合には正誤表も合わせて掲載いたします。



	問題番号	重要度	問題頁数	解答頁数	内 容	チェック
1. 簿記一巡	[ 1 ]	B	P. 2	P.116	決算手続	
	[ 2 ]	A	P. 3	P.116	損益の見越・繰延	
2. 現金預金	[ 1 ]	A	P. 4	P.117	現金の範囲・現金過不足	
	[ 2 ]	B	P. 5	P.117	現金過不足	
	[ 3 ]	A	P. 6	P.117	銀行勘定調整	
	[ 4 ]	A	P. 7	P.117	銀行勘定調整	
	[ 5 ]	B	P. 8	P.118	当座預金・当座借越	
3. 固定資産						
(1)有形固定資産	[ 1 ]	B	P. 9	P.119	取得原価の決定	
	[ 2 ]	B	P.10	P.119	取得原価の決定	
	[ 3 ]	A	P.11	P.119	減価償却(総合形式)	
	[ 4 ]	B	P.12	P.119	減価償却(総合形式)	
	[ 5 ]	A	P.13	P.119	売却・除却・買換	
	[ 6 ]	A	P.14	P.120	減価償却(総合形式)	
	[ 7 ]	B	P.15	P.120	資本的支出・収益的支出	
	[ 8 ]	B	P.15	P.120	保険金	
	[ 9 ]	B	P.16	P.120	オペレーティング・リース取引	
	[10]	A	P.16	P.120	ファイナンス・リース取引	
	[11]	A	P.17	P.120	ファイナンス・リース取引	
	[12]	A	P.18	P.121	ファイナンス・リース取引(先払い)	
	[13]	B	P.19	P.121	圧縮記帳(直接減額方式・積立金方式)	
	[14]	B	P.20	P.121	圧縮記帳(積立金方式)	
	[15]	B	P.21	P.121	減価償却方法の変更	
	[16]	A	P.22	P.122	減損会計(資産のグルーピング)	
	[17]	B	P.23	P.122	減損会計	
	[18]	B	P.23	P.122	減損会計(共用資産)	
	[19]	A	P.24	P.123	資産除去債務	
(2)無形固定資産	[ 1 ]	B	P.25	P.123	商標権	
	[ 2 ]	A	P.26	P.123	ソフトウェア(自社利用目的)	
	[ 3 ]	A	P.27	P.123	ソフトウェア(市場販売目的・見積りの変更)	
	[ 4 ]	A	P.28	P.124	減損会計(のれん)	

	問題番号	重要度	問題頁数	解答頁数	内 容	チェック
4. 債権債務	[ 1 ]	B	P. 29	P. 125	手形・小切手等の処理	
	[ 2 ]	B	P. 30	P. 125	手形の裏書	
	[ 3 ]	B	P. 30	P. 125	手形の割引	
	[ 4 ]	B	P. 31	P. 125	手形の裏書・割引	
5. 引当金						
(1)貸倒引当金	[ 1 ]	A	P. 32	P. 126	貸倒れの処理	
	[ 2 ]	B	P. 33	P. 126	キャッシュ・フロー見積法等(総合形式)	
	[ 3 ]	C	P. 34	P. 126	キャッシュ・フロー見積法等(総合形式)	
(2)賞与引当金	[ 1 ]	A	P. 35	P. 127	賞与引当金	
6. 有価証券	[ 1 ]	B	P. 36	P. 128	取得と売却	
	[ 2 ]	A	P. 37	P. 128	満期保有目的の債券(利息法)	
	[ 3 ]	A	P. 38	P. 128	満期保有目的の債券(定額法)	
	[ 4 ]	A	P. 39	P. 128	その他有価証券・関連会社株式の期末評価	
	[ 5 ]	A	P. 40	P. 129	その他有価証券の期末評価	
	[ 6 ]	A	P. 41	P. 129	有価証券の減損処理	
	[ 7 ]	A	P. 42	P. 129	有価証券(総合形式)	
	[ 8 ]	B	P. 43	P. 130	その他資本剰余金からの配当	
	[ 9 ]	B	P. 44	P. 130	保有目的区分の変更	
	[10]	A	P. 45	P. 130	有価証券(総合形式)	
	[11]	C	P. 46	P. 131	満期保有目的の債券(利息法)	
7. 商品売買						
(1)商品有高帳	[ 1 ]	C	P. 48	P. 133	商品有高帳(先入先出法)	
	[ 2 ]	B	P. 49	P. 133	商品有高帳(先入先出法)	
(2)普通商品売買	[ 1 ]	A	P. 50	P. 134	4つの記帳方法	
	[ 2 ]	C	P. 52	P. 135	分記法	
	[ 3 ]	A	P. 54	P. 135	返品・値引・割引	
(3)期末商品の評価	[ 1 ]	A	P. 55	P. 135	期末商品の評価	
	[ 2 ]	A	P. 56	P. 135	期末商品の評価	
	[ 3 ]	B	P. 57	P. 136	売価還元原価法	
	[ 4 ]	B	P. 57	P. 136	売価還元低価法	
(4)仕入諸掛	[ 1 ]	C	P. 58	P. 136	仕入諸掛(決算整理)	

	問題番号	重要度	問題頁数	解答頁数	内 容	チェック
(5)その他	[ 1 ]	B	P. 59	P. 136	販売以外で商品が減少(見本品費)	
	[ 2 ]	B	P. 60	P. 136	精算表	
	[ 3 ]	B	P. 61	P. 136	仕入・売上 of 計上基準	
8. 退職給付会計	[ 1 ]	B	P. 62	P. 138	簡便法	
	[ 2 ]	A	P. 63	P. 138	退職給付費用	
	[ 3 ]	A	P. 64	P. 138	退職給付費用	
	[ 4 ]	A	P. 65	P. 138	退職給付費用	
9. 純資産会計						
(1)設立・増資	[ 1 ]	B	P. 66	P. 140	増資	
(2)剰余金の配当及び処分	[ 1 ]	A	P. 67	P. 140	剰余金の配当	
	[ 2 ]	A	P. 68	P. 140	剰余金の配当及び処分	
(3)自己株式	[ 1 ]	A	P. 69	P. 140	自己株式(取得・消却)	
	[ 2 ]	B	P. 70	P. 141	新株・自己株式の併用	
	[ 3 ]	B	P. 71	P. 141	株主資本等変動計算書	
(4)新株予約権	[ 1 ]	B	P. 72	P. 142	新株予約権	
	[ 2 ]	B	P. 73	P. 142	ストック・オプション	
	[ 3 ]	B	P. 74	P. 143	ストック・オプション(条件変更)	
10. 税金	[ 1 ]	B	P. 75	P. 144	税金	
	[ 2 ]	A	P. 76	P. 144	消費税等(総合形式)	
11. 社債	[ 1 ]	A	P. 77	P. 145	社債の発行(利息法・定額法)	
	[ 2 ]	A	P. 78	P. 145	買入償還(定額法)	
	[ 3 ]	A	P. 79	P. 146	買入償還(定額法)	
	[ 4 ]	C	P. 80	P. 146	買入償還(利息法)	
12. 新株予約権付社債	[ 1 ]	B	P. 81	P. 147	一括法・区分法	
	[ 2 ]	B	P. 83	P. 147	区分法(総合形式)	
13. 税効果会計	[ 1 ]	A	P. 84	P. 149	税効果会計(総合形式)	
	[ 2 ]	A	P. 86	P. 149	税効果会計(総合形式)	
14. 外貨建会計						
(1)期中及び決算時の処理	[ 1 ]	A	P. 88	P. 151	期中の処理	
	[ 2 ]	A	P. 89	P. 151	決算時の処理	
	[ 3 ]	B	P. 90	P. 151	外貨建有価証券	
	[ 4 ]	B	P. 91	P. 152	外貨建有価証券	

	問題番号	重要度	問題頁数	解答頁数	内 容	チェック
(2)為替予約の処理	[ 1 ]	A	P.92	P.152	独立処理	
	[ 2 ]	A	P.93	P.153	ヘッジ会計	
	[ 3 ]	A	P.94	P.153	振当処理	
	[ 4 ]	A	P.95	P.153	振当処理	
	[ 5 ]	A	P.96	P.154	振当処理	
	[ 6 ]	B	P.97	P.155	振当処理	
15. 特殊商品売買						
(1)割賦販売	[ 1 ]	B	P.98	P.156	利息区分法	
(2)試用販売	[ 1 ]	B	P.99	P.156	対照勘定法	
	[ 2 ]	B	P.100	P.157	対照勘定法	
	[ 3 ]	C	P.101	P.157	手許商品区分法(分割法)	
	[ 4 ]	C	P.102	P.157	手許商品区分法(分割法)	
(3)委託販売・受託販売	[ 1 ]	B	P.103	P.158	手許商品区分法(分割法)	
	[ 2 ]	B	P.104	P.158	手許商品区分法(分割法)	
	[ 3 ]	B	P.105	P.159	手許商品区分法(分割法)	
	[ 4 ]	B	P.106	P.159	受託販売	
16. 組織再編会計	[ 1 ]	B	P.107	P.160	合併	
	[ 2 ]	B	P.108	P.160	株式交換	
	[ 3 ]	B	P.109	P.160	事業譲受・事業譲渡	
	[ 4 ]	B	P.110	P.160	会社分割	
	[ 5 ]	B	P.111	P.160	会社分割	
17. 収益認識	[ 1 ]	A	P.112	P.161	数量値引きの見積り	
	[ 2 ]	A	P.113	P.161	返品権付きの販売	
	[ 3 ]	A	P.114	P.161	履行により契約資産が認識される場合	

---

# 問 題 編

# 1 簿記一巡

【1】

重要度 B 標準時間 7 分

次に掲げる資料に基づき、①～⑨までの金額、勘定科目を答えなさい。(準大陸式)

現金	187,810	買掛金	202,500
売掛金	292,500	減価償却累計額	( ② )
繰越商品 ( ① )		貸倒引当金	( ③ )
建物	550,000	資本金	400,000
仕入	1,125,000	利益準備金	35,000
販売管理費	364,580	繰越利益剰余金	( ④ )
減価償却費	500	売上	1,624,000
貸倒損失	1,000	備品売却益	1,000
	( )		( )

現金	187,810	買掛金	202,500
売掛金	292,500	減価償却累計額	227,700
繰越商品	49,000	貸倒引当金	5,350
建物	550,000	未払販売管理費	12,760
仕入	1,138,000	資本金	400,000
販売管理費 ( )		利益準備金	35,000
減価償却費	9,900	繰越利益剰余金	( ⑤ )
貸倒引当金繰入	960	売上	1,624,000
棚卸減耗損	1,800	備品売却益	1,000
貸倒損失	1,000		
	( )		( )

損		益	
3/31 仕入	1,138,000	3/31 売上	1,624,000
〃 販売管理費 ( ⑥ )	9,900	〃 備品売却益	1,000
〃 減価償却費	960		
〃 貸倒引当金繰入	1,800		
〃 棚卸減耗損	1,000		
〃 貸倒損失	( )		
〃 ( ⑦ )	( )		
	1,625,000		1,625,000
繰越利益剰余金			
6/20 利益準備金	1,000	4/1 前期繰越	111,000
〃 未払配当金	10,000	3/31 ( ) ( ⑨ )	
3/31 ( ⑧ )	( )		
	( )		( )

**解答欄**

①	②	③	④	⑤
⑥	⑦	⑧	⑨	

解答：P.116

**【2】**

重要度 A 標準時間 2 分

次の資料に基づき、営業費の当期支払額を求めなさい。

(資料)

前期末決算整理後残高試算表(一部)

決算整理後残高試算表(一部)		(単位：円)	
前払営業費	385	未払営業費	238

当期末決算整理後残高試算表(一部)

決算整理後残高試算表(一部)		(単位：円)	
前払営業費	282	未払営業費	417
営業費	10,677		

**解答欄**

営業費の当期支払額 \_\_\_\_\_ 円

解答：P.116

## 2 現金預金

【1】

重要度 A 標準時間 2 分

次の資料により、決算整理後残高試算表を作成しなさい。

(会計期間：X1年4月1日～X2年3月31日)

(資料)

		決算整理前残高試算表		(単位：円)
現	金	160,000		
受	取	手	形	480,000

期末現在金庫の中には次のものがあり、現金勘定で処理されている。なお、現金の帳簿残高と実際有高との差額は原因不明であるため雑収入または雑損失として処理する。

通 貨 100,000円 他人振出小切手 10,000円(振出日：X2年3月28日)

他人振出小切手 6,000円(振出日：X2年4月3日) 送金為替手形 35,000円

### 解 答 欄

		決算整理後残高試算表		(単位：円)
現	金	( )		
受	取	手	形	( )
( )	( )	( )		

解 答：P.117

【2】

重要度 B 標準時間 2 分

次の資料に基づき決算整理において必要な仕訳を行いなさい。

(資料 1)

決算整理前残高試算表		(単位：円)
現金過不足	420	

(資料 2)

決算整理前残高試算表の現金過不足勘定420円は、期中に現金実査を行った際に計上したものである。その後、決算において不一致の原因について以下の事項が明らかになったが、残額は不明なままであるため、雑収入または雑損失として処理する。

- ・現金売上の計上漏れ 850円      ・修繕代金支払いの計上漏れ 540円
- ・買掛金支払いの計上漏れ 760円

**解答欄**

借	方	金	額

解答：P.117

【3】

重要度 A 標準時間 6 分

次の(資料1)及び(資料2)により、問1 決算整理前残高試算表の当座預金勘定の金額を示すとともに、問2 決算整理後残高試算表を作成しなさい。

(資料1)

決算整理前残高試算表				(単位：円)				
現	金	150,000	買	掛	金	469,200		
当	座	預	金	( )	雑	収	入	5,400
売	掛	金	641,700					
営	業	費	623,800					
雑	損	失	13,000					

(資料2)

- 決算日現在の銀行残高証明書の金額は332,300円であり、当社の当座預金の帳簿残高との差額として次の事項が判明した。
  - 仕入先に掛代金支払いのため振出した小切手で、まだ銀行に呈示されていないもの33,700円
  - 決算日に銀行の営業時間外に預入れたため、銀行では翌日入金処理したものの16,000円
  - 営業費支払いのため振出した小切手で支払先に未渡しのもの30,600円
  - 銀行から支払いがすでに行われていた電話代金(営業費勘定使用)で未通知のもの14,000円
- 決算時に現金の実査を行ったところ、その実際有高は179,000円であり、帳簿残高との差額として次の事項が判明した。
  - 営業費の支払いの記帳もれ27,000円
  - 売掛金の他人振出の小切手による回収の記帳もれ60,000円
  - その他は原因不明として雑収入または雑損失として処理する。

**解 答 欄**

問1 決算整理前残高試算表の当座預金勘定の金額 \_\_\_\_\_ 円

問2

決算整理後残高試算表				(単位：円)			
現	金	( )	買	掛	金	( )	
当	座	預	金	( )	( )	( )	
売	掛	金	( )	雑	収	入	( )
営	業	費	( )				
雑	損	失	( )				

解 答：P.117

【4】

重要度 A 標準時間 4 分

次の資料に基づき、決算整理後残高試算表を作成しなさい。

(資料1) 決算整理前残高試算表

決算整理前残高試算表				(単位：円)		
当	座	414,000	買	掛	金	595,000
売	掛	金	未	払	金	32,000

(資料2) 銀行取引に係る事項

## 1. 甲銀行

当座勘定のうち甲銀行に対するものは(各自推算)円である。なお、甲銀行の残高証明書の金額は464,000円であった。その差異の原因は次のとおりである。

- (1) 買掛金支払いのための小切手25,000円と修繕代金支払いのための小切手16,000円を期末までに振出して記帳したが、このうち買掛金に関する小切手8,000円は相手先に交付済であるが取立てられていないものであり、残りはすべて期末現在未渡しである。
- (2) 期末に得意先振出の小切手80,000円を銀行の営業時間外に預入れたが、銀行では翌日記帳となっている。
- (3) 得意先から売掛金の銀行振込みがあったが、当社ではまだ記帳されていない。

## 2. 乙銀行

当座勘定のなかに、乙銀行に対する借越が24,000円ある。

**解 答 欄**

決算整理後残高試算表				(単位：円)		
当	座	( )	買	掛	金	( )
売	掛	金	未	払	金	( )

解 答：P.117

【5】

重要度 B 標準時間 8 分

次の当座勘定(一勘定制)に基づき、二勘定制により記帳した場合の(1)6月20日及び9月18日の仕訳(2)当座預金勘定及び当座借越勘定の記入(準大陸式)を示しなさい。

(会計期間：1月1日～12月31日)

当		座	
1/1 前期繰越	54,000	5/4 買掛金	49,000
7/25 受取手形	21,000	6/20 支払手形	102,000
9/18 売掛金	92,000	12/31 残高	51,000
11/22 売上	35,000		
	<u>202,000</u>		<u>202,000</u>

解答欄

(1) 6月20日及び9月18日の仕訳

	借方	金額	貸方	金額
6/20				
9/18				

(2) 勘定記入

当座預金			
1/1 ( )	( )	( )	( )
( )	( )	( )	( )
( )	( )	( )	( )
	<u>( )</u>		<u>( )</u>
当座借越			
( )	( )	( )	( )
( )	( )		
	<u>( )</u>		<u>( )</u>

解答：P.118